

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	growのおと阿倍野教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日 ～ 令和8年2月13日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日 ～ 令和8年2月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・困りごとや相談がある際は適宜応じている	保護者様に合わせて、対面や電話等にてその都度対応している。	お子様の当所での様子や、相談事を職員間で日々情報共有している。
2	・週ごとカリキュラムを設定している。	お子様の特性に合わせて、臨機応変に対応している	カリキュラムのレパートリーを増やしている
3	・午前は1対1、午後は1対1～2(療育スタッフ対お子様)での手厚い支援を行っている。	感覚統合、ふれあい遊び、インリアルアプローチなど個々での関わりを大切にしている。	外部への研修 支援の質の向上のため、職員間でのミーティング

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・クールダウンなどできるようなスペースが少ない。	待合室以外の個室スペースがない	パーティションなどを使い、スペースを確保できるよう努めている。
2			
3			